

○関盛信(？―1593)

戦国時代の武将。伊勢国亀山城主。伊勢関氏の宗家。

永禄10年(1567年)伊勢に侵攻した織田信長に降伏した。のち豊臣秀吉にしたがい蒲生氏郷に属した。陸奥白河城(福島県)にうつされ同地で没した。

織田信長に亀山城を追われる前に新所城(関町新所)を築き、現在の関の町なみのもととなる町をつくったとされている。また、滝川一益に奪われた亀山城をのちに取り返すなど、多くの功績を残した。

参考 講談社日本人名大辞典 講談社 2001 年

鈴鹿関町史 関町教育委員会 1977 年